

コウ
サ
マチ

甲佐町

総人口…9,833人 男…4,697人 女…5,136人 世帯数…3,777世帯
(人口構成比) 15歳未満…12.4% 15～64歳…46.8% 65歳以上…40.8%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



甲斐 高士 町長

甲佐町は「人と自然が共生し、にぎわいを育む安全・安心・快適を実感できるまち」を掲げ、商店街を中心とする中心市街地や国指定史跡陣ノ内城跡等の観光資源や、各種イベントのブラッシュアップを図り、さらなる賑わいを創出します。次に、定住人口増加対策として住宅開発の推進等に取り組むとともに、子育て支援の充実など若い世代を対象とした施策を展開していきます。企業の皆様には、ご賛同・ご支援賜りますようお願いいたします。



寄附御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額10万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄附額10万円以上)
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

1

カテゴリー1 産業振興・企業誘致

企業誘致の促進

2022年6月に「企業用地取得奨励金制度に関する条例」を制定し、さらに同年12月に「甲佐町国土利用計画」を策定。当該計画をもとに、地域の個性を生かした企業を誘致し地元雇用環境の充実を図るために、企業誘致の受け皿となる立地環境の整備などが必要。



進出企業の状況

2

カテゴリー2 過疎対策・定住移住

移住・定住施策の充実

民間アパートが少ない一方で、空き家は年々増加。空き家の有効活用など、若者の移住・定住の受け皿の整備が必要。



子育て支援住宅「ヴェルデ甲佐」

甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画

ひとを起点とした好循環の創出

基本目標

1

安定したしごとを創出する基盤づくり

町外からの人材の呼び込みも含め、特色を生かした魅力ある「しごと」づくりを行う。企業誘致の促進や地場企業への支援を強化する。

基本目標

2

交流人口の拡大、関係人口の創出と定住促進

定住施策に取り組むとともに、教育環境の充実を図る。魅力発信を積極的に行い、交流人口の拡大、関係人口の創出を図る。

基本目標

3

結婚から子育てまで、切れ目のない包括的な支援の充実

家庭と地域の連携による仕事と育児の両立や相談体制の充実を図る。すべてのライフステージを安心して生活できる環境を整備する。

基本目標

4

ひとが集い安心して暮らすことができる魅力的まちづくり

住民が主体的にまちづくりに参画・協働するための環境を整備し、安全・安心に住み続けられる持続可能な「まち」づくりを目指す。

重点プロジェクト

安定した「しごと」の創出

〈SDGs〉関連するゴール

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナリシップで目標を達成しよう

総事業費	— 寄附目標額 —
数値目標	●「しごと」創出数 …… 15→21

地場企業の育成と企業誘致活動の促進を行い雇用の創出を図るとともに、新規起業への支援を行うなどの基盤づくりを推進します。

特に、スタートアップ企業等の誘致を推進することにより、町内外の若年層の雇用を増やし、関係人口の増加を目指します。今年度、別途進めている「中心市街地活性化プロジェクト」の意見を反映しながら、町内の企業の活性化を図り、町内外の若年層が活躍できる環境を整えるため、商店街の空き地を利用し、貸しオフィス・テナント施設及びオープンスペースを整備します。



スタートアップ企業等応援施設(イメージ)

寄附の具体的なメリット

- 地域課題解決への貢献によるイメージアップ
- 町公式ウェブサイト、広報紙等での企業名の掲載によるPR効果
- ※寄附企業様とのご縁を大切にまいります。

寄附申出書の事業名選択時は「まち・ひと・しごと創生推進事業」を選択してください。

重点プロジェクト

緑川環境教育からつなぐ「ひと」の流れ

〈SDGs〉関連するゴール

4 質の高い教育をみんなに

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

14 海の豊かさを守ろう

総事業費	— 寄附目標額 —
数値目標	●社会増減数 …… △34人→△20人

自然豊かな緑川を活かした交流人口の拡大を図るため、「やな場」「津志田河川自然公園」「熊本甲佐総合運動公園」などの観光資源の活用や観光メニューの多様化などを実施します。

また、環境教育の一環として子どもたちによる稚あゆ放流を行うとともに、本町夏の風物詩である「あゆまつり」では「あゆのつかみ取り」を実施するなど、「花と緑と鮎のまち 甲佐」の名の通り、総合的な事業推進を図っています。



子どもたちも参加する稚あゆの放流

寄附の具体的なメリット

- 地域課題解決への貢献によるイメージアップ
- 町公式ウェブサイト、広報紙等での企業名の掲載によるPR効果
- ※寄附企業様とのご縁を大切にまいります。

寄附申出書の事業名選択時は「まち・ひと・しごと創生推進事業」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。